OWNER'S MANUAL

Model 464

この度はモデル464スピーカーシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう保管しておいてください。

目　次

安全上の留意項目 ……2
特長 ……3
開梱時に際してのご注意とお願い ……4
◆付属品を確認してください◆ ……4
各部の名称 ……4
接続について ……6
バナナプラグで接続する場合 ……7
グリルのはずし方 ……7
設置について ……8
再生および調整 ……9
スピーカーのお手入れについて ……10
寸法図 ……10
仕様 ……11
保証 ……11

Model 464 取扱説明書

※説明の便宜上、イラストは原型と異なる場合があります。

安全上の留意項目

ご使用前に、この「安全上の留意項目」をよくお読みになり、正しくお使いください。
以下の内容に反した使用により損害が発生した場合、当社は責任を負いかねます。

絵表示について

この「安全上の留意項目」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

表示例

△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止を意味します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

⚠ 警告	⃠	●スピーカーコードの上に重いものをのせたり、コードをくぎやステップルで固定したり、製品の下敷きにならないようにしてください。また、壁や棚などの間にはさみ込んだりしないでください。スピーカーコードを傷つけて火災の原因となります。
	△	●スピーカー内部に金属片や異物などを入れないでください。ショートや発熱などを起こし、火災の原因となります。
	●	●スピーカーコードを熱器具の近くや直射日光のあたるところには近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災の原因となります。
	⃠	●スピーカーコードを人が通るところなど引っ掛かりやすい場所に這わせないでください。つまずいて転倒したり、スピーカーが落下し、けがや事故の原因となります。
	⃠	●＜本製品＞を分解したり改造しないでください。破損や火災の原因となります。
	●	●熱器具の近くや直射日光のあたるところには設置しないでください。そのような場所で使用しますと、火災の原因となります。

⚠ 注意	⃠	●ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所は避けて置いてください。また、設置場所の強度は重みに耐えられるものにしてください。落下して、けがや事故の原因となります。
	●	●スピーカーを高いところに設置される場合には、足場が不安定になりますので作業には十分ご注意ください。けがや事故の原因となります。
	⃠	●定格を超える信号を入れた状態や長時間音が歪んだ状態で使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
	⃠	●高いところに設置される場合には、不意な衝撃に対して落下しないよう固定してください。固定しないまま使用しますと、落下し、けがや事故の原因となります。
	⃠	●取付金具をご使用になる場合は、ご使用になるスピーカーに対応しているボーズ社製の金具をご使用ください。 他メーカーの金具や、対応外の金具を使用するとスピーカーの破損や落下のおそれがあります。
	●	●窓を閉めきった自動車の中や直接日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。 キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
	●	●このスピーカーは室内専用です。屋外には設置しないでください。雨や雪などが当たるとキャビネットが破損して落下し、けがや事故の原因となる場合があります。

特　長

●アドバンスト・アクースティマス

ボーズ社特許の低音再生技術アクースティマスにパッシブラジエーターを組み合わせ、効率良くさらに、ノイズや歪のない低音を再生します。

●クリアな重低音を再生するパッシブラジエーター

低音は、低い周波数になればなるほど振幅が大きくなり、風切り音などのポートノイズや付帯音が発生しやすくなります。モデル464では、チューニング周波数の低い方(40Hz)にはウーファーから発生する高調波歪を最小限に抑える大口径パッシブラジエーターを採用。このパッシブラジエーターのフレームにも剛性が高く、振動吸収性にすぐれ、しかも内部損失の大きなマグネシウム合金を使用し、重低音をさらにピュアなものにしています。

●広い開口部が、濁りのない低音を生むスパイラル・ポート

チューニング周波数の高い方(90Hz)はキャビネット内に隠れているウーファーから発せられる音響エネルギーを、エンクロージャーの中に回廊の様に巡らせたスパイラルポート内の空気の質量に共振して放出しています。また、このスパイラルポートを通ることで音の色づきの原因となる高い周波数の歪がフィルターされます。

●最適強度解析によるエンクロージャー設計

エンクロージャーの強度にムラがあると弱い部分から共振などの箱鳴りが発生します。そのためモデル464では各部分が最適な強度となるよう解析し、全ての部分で均一な強度になるように設計しています。側面は内部の前後のチャンバーの仕切りやスパイラルポートの内壁により構造的に二重にして剛性を確保し、天板と底板はパーチクルボードの1.5倍の強度と内部損失の大きなMDF（中密度繊維板）を使用し、エンクロージャーの強度の均一化を実現しています。

●高域と中域が一体化して、仮想音源を創りだすレゾナンス・マトリクス

ミッドレンジ・ドライバーとツイーターが、あたかも一つのドライバーのような自然な中高音を再生するレゾナンス・マトリクスを新開発。2本のミッドレンジ・ドライバーをマグネシウム製サブバッフルに上下に配置し、その間に仮想スピーカー(ファンタム音源)を創りだします。そして、そのファンタム音源の位置にツイーターを配置することでミッドレンジとツイーターが完全に一体化し、シャープな定位と水平方向の広指向特性を実現しました。

●広帯域ミッドレンジ・ドライバーを採用

モデル464では繋ぎめのない自然な中域を再生するために、ボーズ社特許のアルミエッジワイズ巻きヘリカルボイスコイルを使用した強力な11.5cmのフルレンジ・ドライバーをミッドレンジとして使用しています。この11.5cmフルレンジ・ドライバーは一般的なミッドレンジ・ドライバーより低い200Hzというミッドバスの領域まで余裕をもってカバーします。そのために、ウーファーとの自然な繋がりが実現できました。

●リニアリティに優れた新開発タンジェンシャル型チタンドームツイーター

ドームツイーターを極端に薄くすることが高音速と高弾性率を実現するためには必要になリます。そのため、強度を確保できる素材としてチタンを採用し、極薄型2.5cmドームツイーターを開発しました。マグネット部にはネオジウムマグネットを使用し、エッジ部はプリーツ状のタンジェンシャルエッジを採用。リニアリティーをさらに高めています。その結果伸びやかで、広い指向特性のナチュラルな高域再生を実現しました。

●厳選されたパーツを採用したバイワイヤリング対応ネットワーク

モデル464に採用されたネットワークには経年変化のないリニアリティの高い高音質フィルムコンデンサーを使用するばかりでなくコイルは全て空心コイルを使用しています。さらに、ネットワーク基板上のパーツの配置にも気を配り、コイルがお互いに磁気的に影響を及ぼさないようにしています。また、モデル464のネットワークは、低音用と高音用を分離してアンプに独立接続できるバイワイヤリングにも対応しています。

●金メッキ処理のスピーカーターミナル

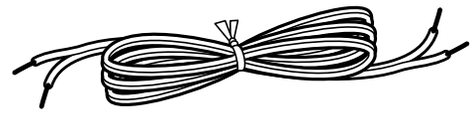
スピーカー端子は、バナナプラグも使用できる金メッキを施したネジ込み式タイプを採用しています。また、スピーカーターミナルの対応線径は φ5mmまでです。 防磁対応スピーカーモデル464はシールド方式とキャンセリング・マグネット方式を併用した低磁束漏洩処理が施されています。また、ツイーターもマグネットが外部に露出しない内磁型構造ですので、モデル464をモニターやテレビの脇に設置することが可能です。

開梱時に際してのご注意とお願い

◆ 付属品を確認してください ◆

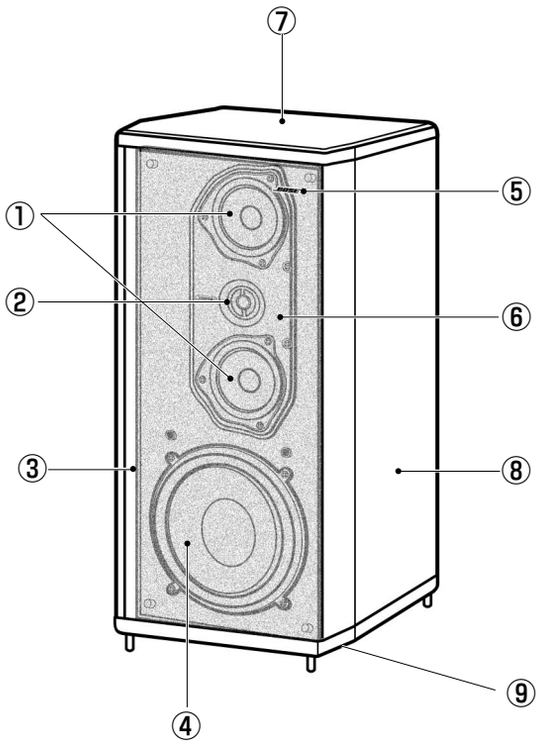
もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。また、箱や梱包材は、後日の修理メンテナンス等が必要になった場合のために保管しておくことをおすすめします。

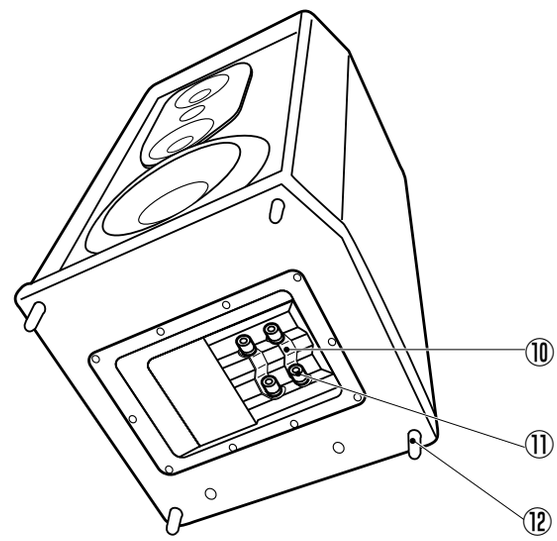
フロアプロテクター：8個



スピーカーコード：3m×2本

各部の名称





① 11.5cmミッドレンジドライバー

アルミエッジワイズ巻き、ヘリカルボイスコイルを採用し、優れたトランジェットレスポンスを得ています。

② 2.5cmチタンドームツイーター

ネオジウムマグネットを採用したタンジェンシャルエッジ型ドームツイーターです。リング状のイコライザーを持たせ、指向特性を改善しています。

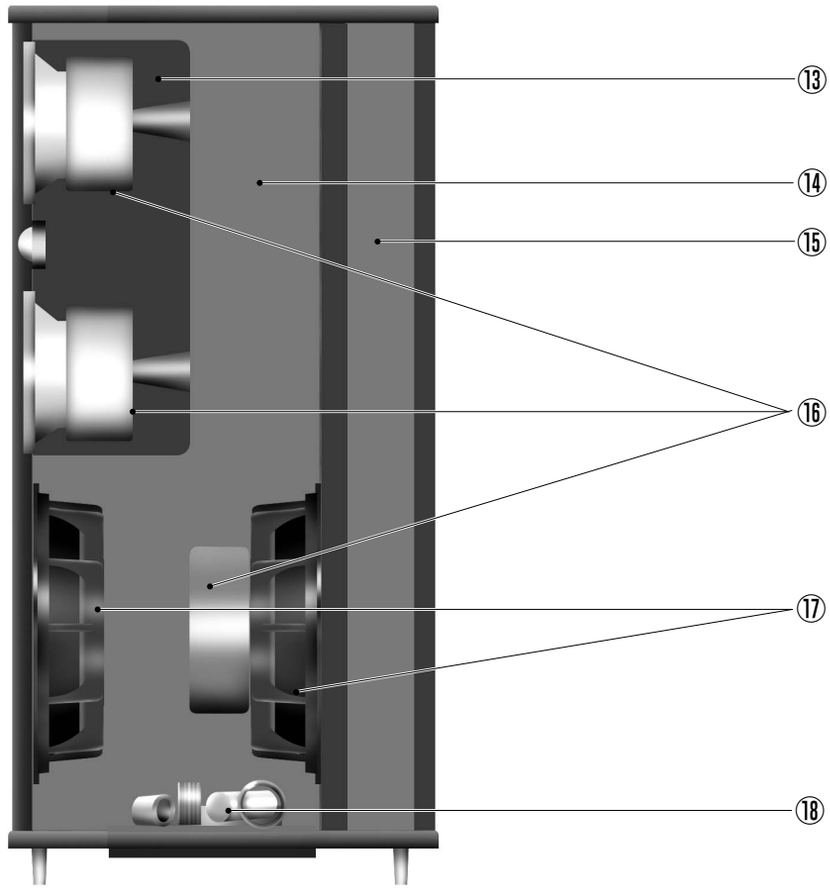
③ スパイラルポート

エンクロージャー内にうず巻き状に、スリットポートを構成させエンクロージャー強度と低ノイズ化を実現しています。

④ パッシブラジエーター

内部のウーファーと同一口径で、フレームには非磁性体であり、高い内部損失、高強度のマグネシウム合金を使用しています。

内部の構造



⑤ ロゴプレート

⑥ レゾナンス・マトリクスバッフル
超軽量、高強度で内部損失の大きなマグネシウム合金を使用しています。

⑦ 天板
MDFを使用し、仕上げにはピアノフィニッシュを施しています。

⑧ 側板
バーズアイメイプル調仕上げのクリア塗装。

⑨ 底板
天板と同じMDF、ピアノフィニッシュ仕上げです。

⑩ ショートプレート
バイアンプ、バイワイヤリング接続をするときに外します。

⑪スピーカーターミナル
線径φ5mmまで。バナナプラグも使用できる金メッキ仕上げのターミナルを使用しています。

⑫ポイントフット
取り外しが可能です。性能的にはスパイクタイプと同等の機能がありますが、構造的にはスパイクよりも床などをいためにくく設計されています。

⑬サブチャンバー

⑭ラージチャンバー

⑮スモールチャンバー

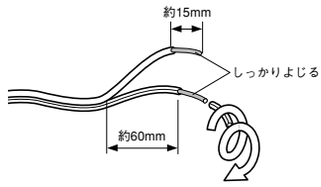
⑯防滋シールド

⑰マグネシウムフレーム

⑱ネットワーク

接続について

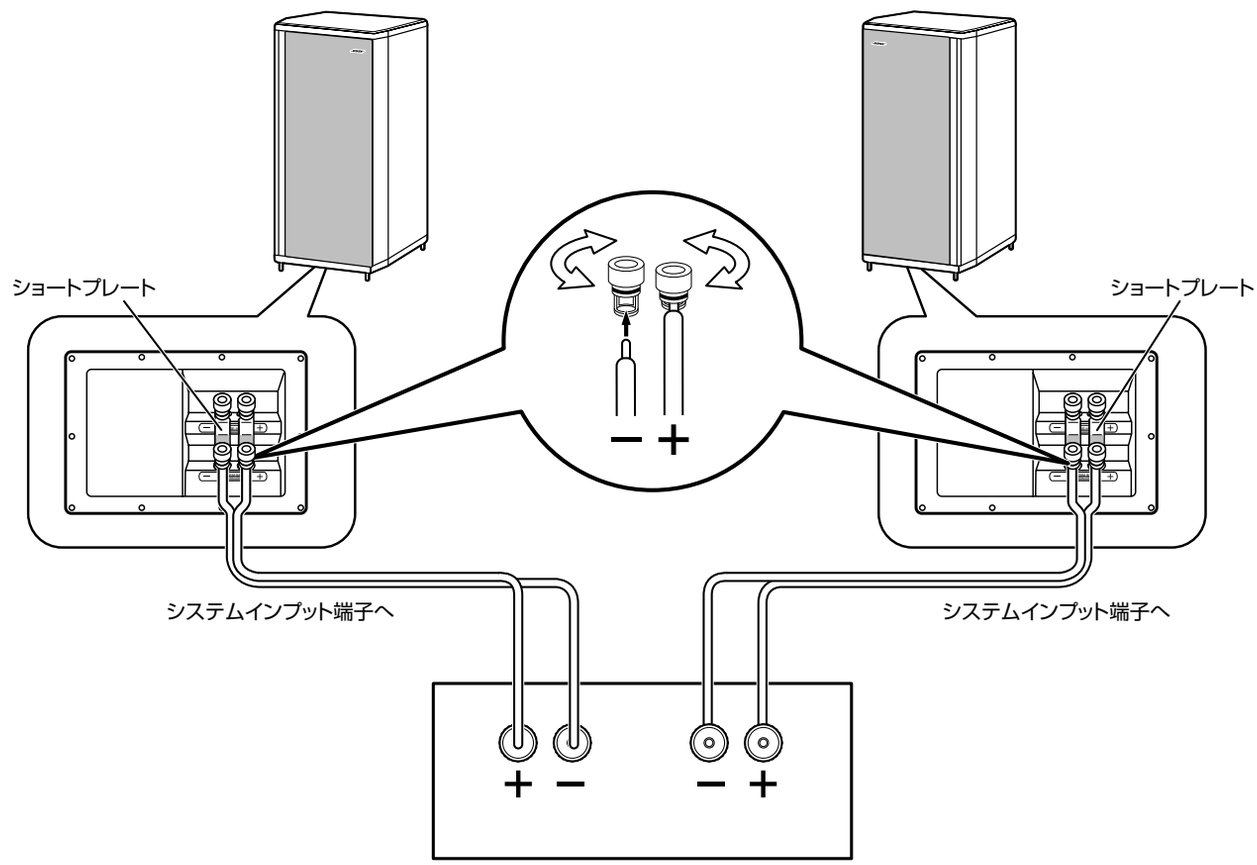
●スピーカーとアンプを接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行ってください。
●スピーカー裏面の入力端子とアンプからの出力端子を、スピーカーコードで接続してください。



スピーカーコードは、図のように先端の
被覆をむいておきます。

1. 基本接続

スピーカーコードは、スピーカーのシステムインプット ⊕ 側端子とアンプの ⊕ 側端子を接続します。スピーカーのシステムインプット ⊖ 側端子とアンプの ⊖ 側端子を接続してください。
※ショートプレートは、はずさないようにご注意ください。



2. バイワイヤリング接続

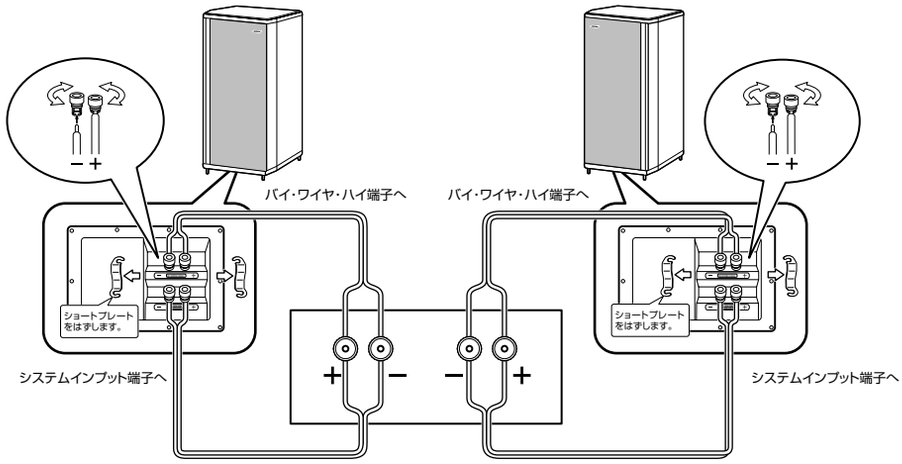
・バイワイヤリング・バイアンプ接続時のインピーダンスと許容入力について

中高域　6Ω…100w（rms IEC 286-5）

低　域　6Ω…100w（rms IEC 286-5）

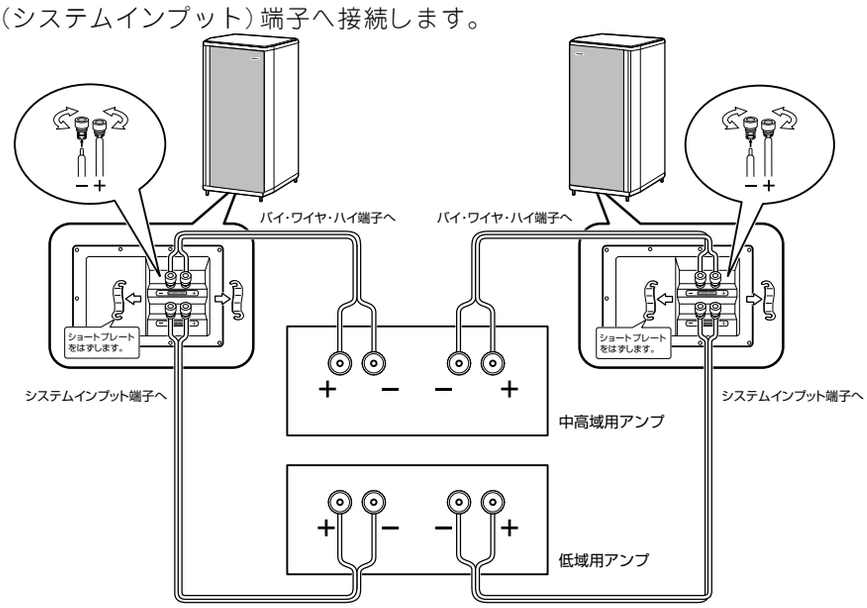
A 一台のアンプをバイワイヤリングで接続する場合

ショートプレートをはずして、SYSTEM INPUT（システムインプット）端子とBI-WIRE:HIGH（バイ・ワイヤ・ハイ）端子にそれぞれ別々のスピーカーケーブルで接続します。

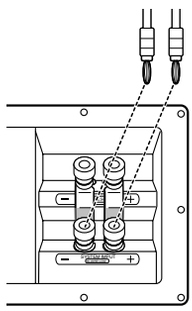


B バイアンプ接続の場合

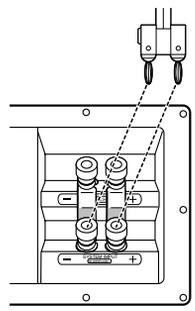
ショートプレートをはずして、中高域用アンプはBI-WIRE:HIGH（バイ・ワイヤ・ハイ）端子へ、低域用アンプはSYSTEM INPUT（システムインプット）端子へ接続します。



バナナプラグで接続する場合

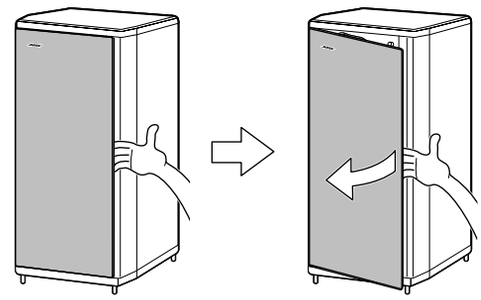


シングルバナナプラグの場合



デュアルバナナプラグの場合

グリルのはずし方



ポート側のグリルとバッフルの間に指先を差し入れ、軽くひきます。

設置について

スピーカーの再生音は、スピーカーを設置する場所やリスニングルームの状況などに大きく影響されます。
より良い再生音が得られるよう次の点を考慮したうえ、設置してください。

●スピーカーは基本的には、ポートが外側になるように設置します。スピーカーの間隔が狭い場所やお部屋の状況によってはポートが内側に置いた方が良い場合があります。実際にお試しになってスピーカーの左右を決めてください。

●できるだけ遮音された静かな部屋でご使用ください。

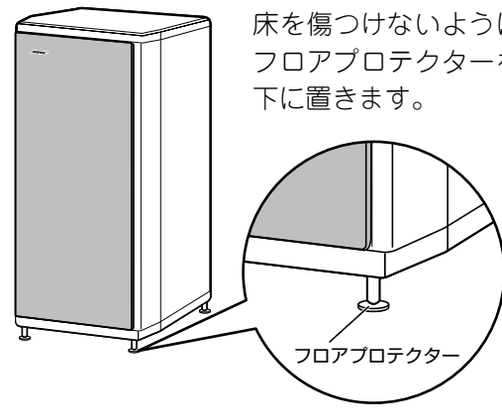
●音質は部屋の音響特性によって変化します。室内に吸音処理することによって、周波数に対する残響時間のバラつきを抑え良好な再生音を得ることができます。

●スピーカーの正面にガラス戸や壁面などありますと、音の反射や共振が起こりやすくなります。この場合、カーテンや厚手の布などをかけて、吸音処理することをおすすめします。

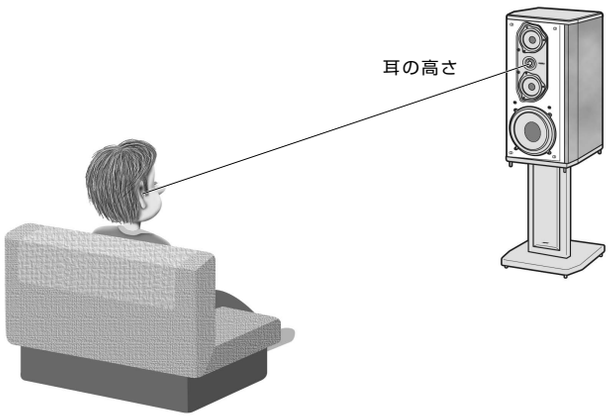
●スピーカーを硬い床などに直接置いてご使用されますと、音の反射や共振が起こりやすくなります。この場合、じゅうたんを敷くことによって防止することができますが、じゅうたんの厚みや質によっては、中高域が吸収されすぎることがありますのでご注意ください。

●ステレオ再生の場合、左右のスピーカーができるだけ同じ音響条件になるように設置してください。左右のバランスがそろっていないと、定位がぼやけたり焦点の定まらない音になります。

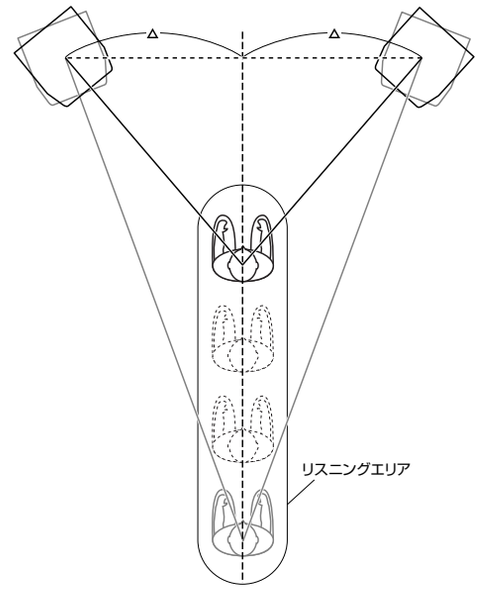
フロアプロテクターの使い方



●スピーカーは、聴取される耳の高さとほぼ同じになるように設置するのが理想です。



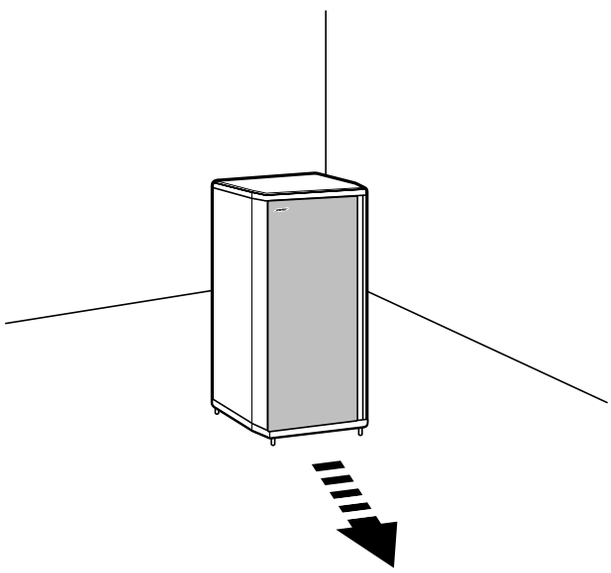
●ステレオ再生の場合、左右のスピーカーの間隔は聴取位置との相関によって変わります。通常聴取位置から左右のスピーカーをはさんだ角度は40〜60度くらいが良く、あまり狭くすると十分なステレオ感が得られなくなります。

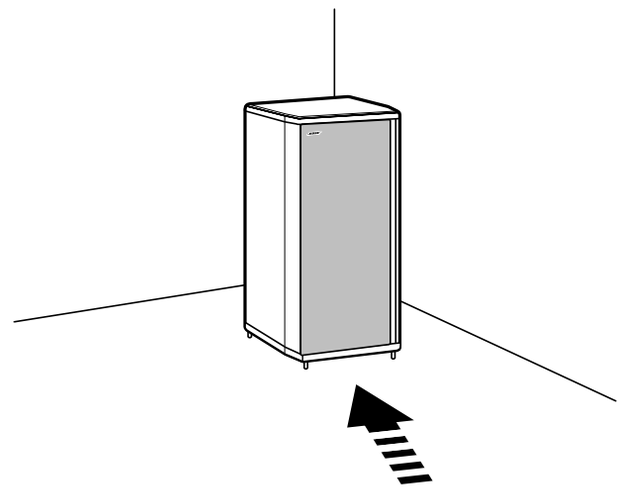


再生および調整

●聴き慣れた音楽ソースをご用意ください。アンプのボリュームを最小にした状態で電源を入れ、徐々に音量を上げていってください。

●スピーカーは設置する場所によって低音の量感が変わります。低音が出すぎると感じた場合は、壁やコーナーから離してください。また、低音が足りないと感じた場合は壁やコーナーに近づけてください。

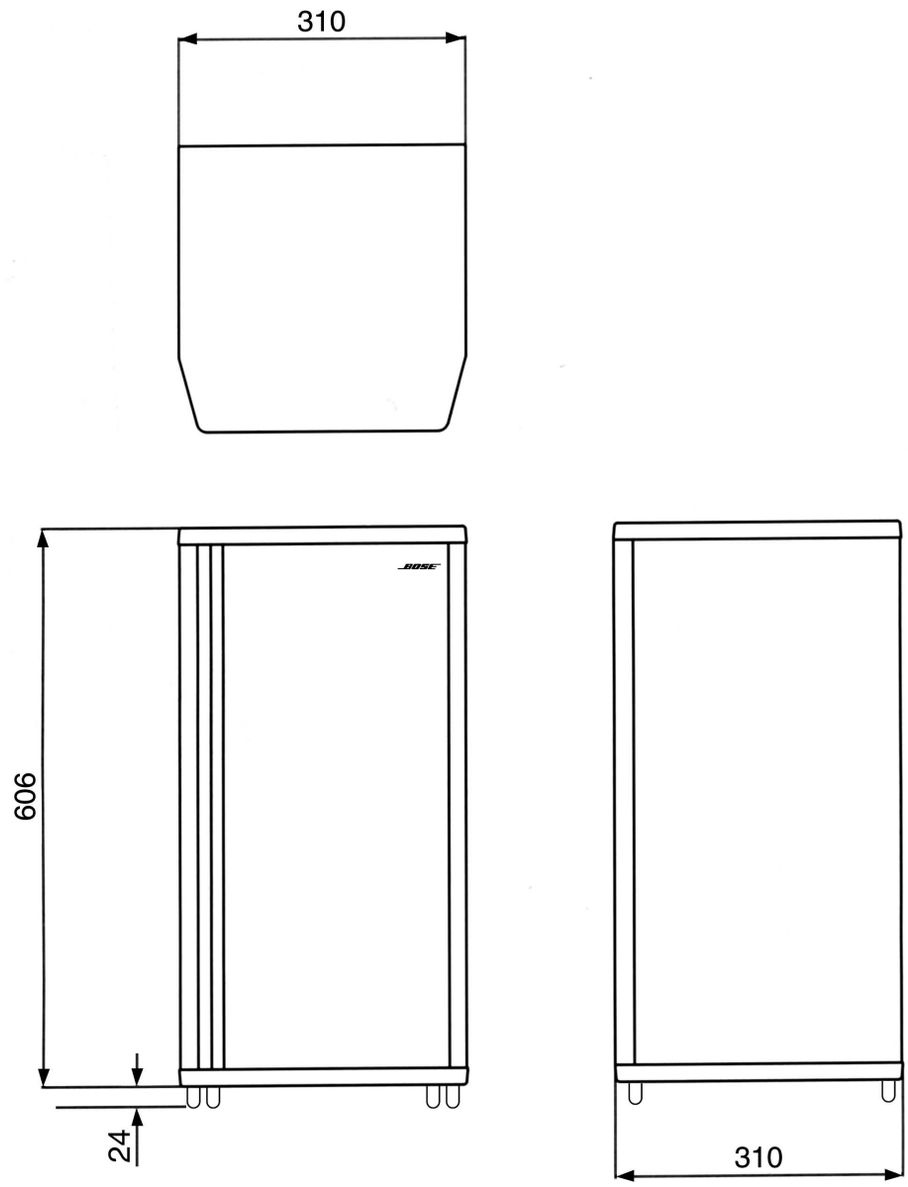




スピーカーのお手入れについて

●汚れやホコリは、柔らかい布で、から拭きをしてください。
●汚れがひどいときには、中性洗剤を薄めた水にやわらかい布を浸し、堅く絞ってから汚れを拭きとり、別の乾いたやわらかい布で、から拭きをしてください。
●シンナー、ベンジン、アルコール、化学薬品を使用すると表面が侵されたり文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかからないようにご注意ください。

寸法図



単位：mm

仕　様

方　　式	中高域　レゾナンス・マトリクス方式 低域　アドバンスド・アクースティマス方式
ユニット構成	20cmウーファー×1 20cmパッシブラジエーター×1 11.5cmミッドレンジ×2 2.5cmチタンドームツイーター×1
再生周波数帯域	38Hz～35kHz
インピーダンス	基本接続時 6Ω バイワイヤリング接続時 中高域部：6Ω 低 域 部：6Ω
許容入力	基本接続時 100W(rms IEC268-5) バイワイヤリング接続時 中高域部：100W(rms IEC268-5) 低 域 部：100W(rms IEC268-5)
防磁方式	シールド方式、キャンセリング・マグネット方式併用（ミッドレンジ、ウーファー）　内磁型（ツイーター）
入力端子	バイワイヤリング対応、デュアルバナナ対応ネジ込み式（金メッキ処理） 対応線径φ5.0mmまで
外形寸法	310(W)×606(H)×310(D)mm
質　　量	20kg（1本）
カラー	キャビネット部　メタリックブラウングレー サイドパネル部　ダークゴールドブラウン 天底部　ブラック
付　　属　　品	スピーカーコード（3m×2本） フロアプロテクター（8個）

保　証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

故障の場合のお問い合わせ先

故障及び修理のお問い合わせは、
ボーズ・サービスセンター株式会社　　フリーダイヤル　0120-235-250
住所　〒206-0035　東京都多摩市唐木田1-53-9　唐木田センタービル

製品等のお問い合わせは、
ボーズ株式会社、インフォメーションセンター　　☎ 03-5489-0955
までご連絡ください。

BOSE®

Better sound through research®

http://www.bose.co.jp/

ボーズ株式会社

〒150-0044　東京都渋谷区円山町28-3　渋谷ＹＴビル　ＴＥＬ03-5489-0955

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご了承願います。

OM-1178
07･01-0.3K-F･1（I-M）